



殺菌効果に大きな期待! 世界初!内装に黄銅を使用したクリニック誕生

このほど千葉原浦安市に、内装に黄銅を大量に使用したクリニックがオープンした。落合クリニックがそれで、環境表面に黄銅板を全面採用したものだ。院内感染の原因となる細菌を短時間で激減させ、衛生管理を改善する銅の特性に着目した発熱外来に対応した世界で初めての施設である。

院内感染の予防では、患者の手の触れる部分、いわゆる「環境表面」の衛生状態が問題になることから、患者の接触する可能性のあるドアノブやドアハンドル、待合室の壁全面、受付のデスクなどの表面に黄銅板が張られ、とくに院内感染の主な原因となるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌、緑膿菌、大腸菌の殺菌や大流行したインフルエンザの感染拡大への予防が期待されている。

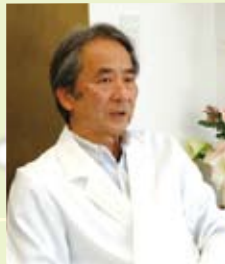
診察室のデスクで同クリニック・落合康博院長は「私のデスクも黄銅で包まれており、オープンして三か月、色は時間とともに少しずつ変化してきている。重厚な風合いをかもしだして実によい感じだ。患者さんからも「内装の輝きで通院するたびに新鮮さを感じる」「気持ちが悪くなる」という声を聞く。これからの長い期間、院内を衛生的に保てることを期待している――

また、設計に当たられた高橋堅氏（高橋堅建築設計事務所）は「銅および黄銅に強力な殺菌性能があると聞き、設計中だったクリニックの環境表面に黄銅板を使用した。手が触れるほとんどの部分を黄銅製とすることで、世界初の抗菌クリニックとなっている。酸化していない黄銅はまさに金色だ。近代建築が頭ごなしに避けてきた「金色」という色味を、合目的性という概念とともに現代に持ち込めたことをうれしく思っている。――と言われる。



高橋堅氏

1969 東京都生まれ／神奈川県育ち
1988 神奈川県立湘南高等学校卒業
1993 東京理科大学工学部建築学科卒業
1995 同大学大学院修士課程修了
1996 コロンビア大学建築都市修景学部大学院修了
1997 青木淳建築計画事務所入所
2000 同事務所退所
2000 高橋堅建築設計事務所設立
2000～京都造形芸術大学非常勤講師
2002～東京理科大学非常勤講師
2006 日本建築士会連合会賞奨励賞
2008 東京建築士会住宅建築賞



落合クリニック 落合康博院長



撮影：阿野太一氏